

CIREn 電気化学研究分科会 2021年度 第1回講演会

2021年9月10日(金) 14:00~16:00

主催: CIREn 電気化学研究分科会

共催: 佐賀大学肥前セラミック研究センター

場所: Web 配信 (Webex を利用予定)

後日, 参加者のみに詳細をご連絡いたします

内容: (講演の概要は次頁をご覧ください)

講演1 バイオマス廃棄物を燃やさずに電力に変換!
～燃料電池の用途拡大と地球規模の普及に向けて～
(九州大学 白鳥祐介)

講演2 バイオガスの改質による固体酸化物形燃料電池用水素一
酸化炭素系燃料の合成
(鹿児島大学 鮫島宗一郎)

フリーディスカッション

参加をご希望の方は, 9月6日(月)までに, 参加者の①企業・団体名, ②参加者氏名, ③連絡先を, 下記申込先メール宛にお知らせください。本講演会に関するお問い合わせは, 下記の間合せ先までお願いいたします。

申込先

CIREn 事務局

担当: 川副 悦子

Tel: 0952-28-8514

Fax: 0952-28-8860

E-mail: info@ciren.jp

間合せ先

CIREn 電気化学研究分科会

担当: 梅木 辰也

Tel: 0952-28-8555

Fax: 0952-28-8548

E-mail: umecky@cc.saga-u.ac.jp

九州大学 白鳥祐介

演題「バイオマス廃棄物を燃やさずに電力に変換！～燃料電池の用途拡大と地球規模の普及に向けて～」

概要 我が国は、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しているが、国際協調の下、対策を進めて行くことが必須である。2050年には全世界のGDPの半分以上を占めるアジア地域が、地球規模の温室効果ガス排出削減の鍵を握っているが、SDGsに貢献するためには、単に先端技術を開発するだけでいいのか？いかにして新技術をグローバルに広めて行くか、燃料電池をテーマに、アイデアとその実践について紹介する。

鹿児島大学 鮫島宗一郎

演題「バイオガスの改質による固体酸化物形燃料電池用水素—一酸化炭素系燃料の合成」

概要 固体酸化物形燃料電池(SOFC)は化学反応のエネルギーを電気エネルギーに直接変換させるため、エネルギー変換効率が高い。また、高温(約 800 °C)で作動させるため、その熱を含めたエネルギー利用率は約 87%に達する。さらに高温作動のため、水素以外の一酸化炭素や炭化水素を燃料して利用できる。本講演では、再生可能エネルギーとして注目される焼酎滓由来のバイオガスの改質による水素および一酸化炭素の合成について紹介する。